

防災マップを ご確認ください!

災害からあなたと家族を守る

命の パスポート

シリーズ166

事前に必ず、防災マップでハザードエリア※を確認し、いざというときの行動として、「避難所に行く」ほうが安全か、「家にいる」ほうが安全かを確認しておいてください。

なお、お手元に防災マップがない場合は、市役所本館1階窓口課、豊川・止々呂美支所でお渡しします。

また、市内の「防災」「公共施設」「道路」「水道」に関するさまざまな情報を閲覧できる地図情報サイト「みのおマップ」(QRコード)でも、防災マップをご覧いただけます。

地図情報サイト
「みのおマップ」
はコチラ!



※ハザードエリアとは、土砂災害または浸水害が発生する恐れのある区域のことで、府が調査を行い指定するものです。
土砂災害はレッドゾーン・ハイリスクエリア・イエローゾーンに、浸水害は危険度1〜3に分類されます。

あなたのお家は
どちらが安全?
「避難所に行く」?
「家にいる」?

3つのステップでカクニ!

防災マップの見方

土砂災害

ハザードエリアの例

浸水害

ハザードエリアの例

ステップ 1

防災マップで、ご自宅がある場所の「色」を確認する。

レッドゾーンでは家の構造に関わらず避難所に避難!

ハイリスクエリアで平屋建ての場合は避難所に避難!

外に出ちゃダメ!

ハザードエリアの屋外は、最も危険な場所です。

ステップ 2

ご自宅がある場所の「色」と、家の構造に応じて、とるべき避難行動(「避難所に避難」または「屋内で安全確保」)を確認する。

レッドゾーン

家屋が倒壊する危険があるエリア



避難所に避難

- 暗くなる前に
- 風雨が強くなる前に避難所に行ってください。

ハイリスクエリア

1階窓から土砂が流れ込む危険があるエリア



2.5m 平屋建て

1階窓から土砂が流れ込む危険があるエリア



2.5m 2階建て以上

イエローゾーン

床下まで土砂がくる危険があるエリア



0.5m

屋内で安全確保 (2階以上)

外出せず、2階以上で、山・ガケ・川から離れた部屋にいてください。

屋内で安全確保

外出せず、山・ガケ・川から離れた部屋にいてください。

2階まで浸水する危険があるエリア



3m 平屋建て

床上浸水の危険があるエリア



3m 平屋建て

床上浸水の危険があるエリア



3m 2階建て以上

床下浸水の危険があるエリア



0.5m

危険度3

危険度2

危険度1

危険度3では家の構造に関わらず避難所に避難!

危険度2で平屋建ての場合は避難所に避難!

外に出ちゃダメ!

ハザードエリアの屋外は、最も危険な場所です。

ステップ 3

避難行動が「避難所に避難」だった場合は、市から発令する避難情報と、避難所へ移動するタイミングを確認する。

※ハザードエリア外にお住まいのかたは、不要不急の外出はせず、家の中にいてください。

市から「高齢者等避難」が発令されたら...

「避難所に避難」の対象の世帯では

- 高齢者、障害者及び付き添いのかた、小さな子ども連れのかたなどは、**すぐに避難所に避難してください。**
- 通常の避難行動ができるかたは、避難の準備をしてください(「避難指示」の発令で避難を開始)。

※「屋内で安全確保」の対象のかたも、「ハザードエリア外」にお住まいのかたも避難所へ避難することができます。「一人で家にいると不安」などの理由でも、遠慮なく避難所へお越しください。